

4 STIにかからないためには どうしたらいいの？ 予防と対策



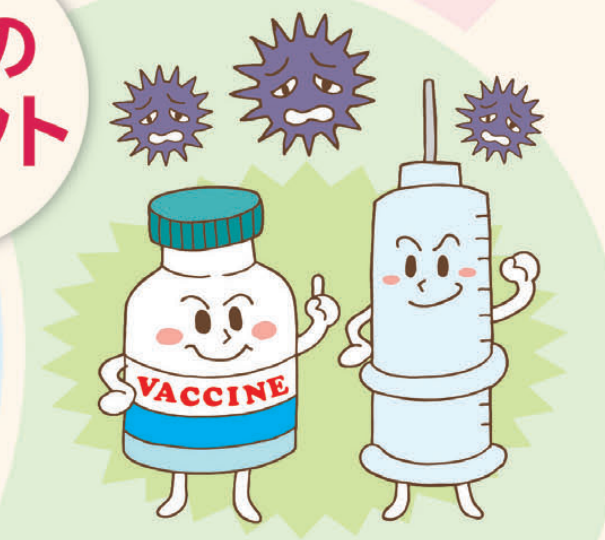
1 (不特定多数のヒトと)
性的接触をしないこと

2 性的接触の最初から最後まで
コンドームを正しく使用すること



コンドームの正しい装着方法は意外と知られていません。
YouTubeも参考にしてください。
<http://www.youtube.com/watch?v=mHHRgFfGnzA>
日本人は仮性包茎である場合が多いが、亀頭部が露出できれば全く問題ありません。

4つのポイント



3 感染の可能性がある
性的接触があった場合は、
必ず検査を受けること

4 ワクチンがあるものは、
積極的に接種を

子宮頸がんと尖圭コンジローマに対してはHPVワクチン(ガーダシル)
A型肝炎に対してはハブリックスなど
B型肝炎に対してはビームゲン、ヘプタバックス-IIがあります

とても大事な予備知識を知っておこう。

性感染症



「STI (Sexually Transmitted Infection)」とは、性的接触で感染する感染症。同じような用語として、「STD (Sexually Transmitted Disease)」という言い方もありますが、こちらは性行為で感染する病気と位置づけられています。そして性的接触だけで感染する可能性のある「STI」は、無症状で感染していると認識できない場合もあります。このSTIにならないようにするために気を付けるべきこと。今回の「Be Well」はこのSTIについて説明します。

STIはオーラルセックス(口腔性交)、アナルセックス(肛門性交)、性器や肛門をなめる、キス、体と体(場合により手だけ)の濃厚な接触で感染することがあります。また、原因となる微生物の中には、性的接触だけではなく、エイズウイルスのように、お産の時や母乳を介して母から赤ちゃんに感染したり、医療器具、注射針から感染するものや、りん菌、トリコモナス原虫のように、下着、タオル、便器、浴槽から感染するものもあります。



1 どんな種類があるの? 代表的なSTIの病原微生物

病原微生物	臨床疾患
細菌	
① りん菌	りん菌感染症 尿道炎、直腸炎、子宮頸管炎、精巣上体炎、咽頭炎、骨盤内炎症性疾患、肝周囲炎、結膜炎、播種性りん菌感染症
② クラミジア	クラミジア感染症 尿道炎、直腸炎、子宮頸管炎、精巣上体炎、咽頭炎、骨盤内炎症性疾患、肝周囲炎、結膜炎
③ 梅毒トレポネーマ	梅毒
④ 性器マイコプラズマ	マイコプラズマ感染症 (非りん菌非クラミジア性尿道炎)
⑤ ガードネレラ桿菌	細菌性陰症
⑥ 軟性下疳菌	軟性下疳
ウイルス	
⑦ HIV	エイズ
⑧ 単純ヘルペスウイルス	性器ヘルペス
⑨ HPV(ヒトパピローマウイルス)	尖圭コンジローマ、子宮頸部上皮内腫瘍、子宮頸がん
⑩ A型肝炎ウイルス	A型肝炎
B型肝炎ウイルス	B型肝炎、肝細胞がん
C型肝炎ウイルス	C型肝炎、肝細胞がん
真菌	
⑪ カンジダ	性器カンジダ症
原虫	
⑫ トリコモナス	腔トリコモナス症
⑬ 赤痢アメーバ	赤痢アメーバ症 (大腸炎、肝のうよう)
寄生虫	
⑭ ケジラミ	ケジラミ症

2 感染するとどうなるの? STIの症状

一般にウイルスや一部の細菌(クラミジアや性器マイコプラズマ)によるSTIは、初期には全く症状がありません(しかし他人にうつす力は持っています)。りん菌感染症・性器ヘルペス・カンジダ症・軟性下疳は性的接触後数日で、梅毒・腔トリコモナス症・細菌性陰症・ケジラミ症・赤痢アメーバ症・A型肝炎は、数週間で、尖圭コンジローマ・B型肝炎・C型肝炎は数か月で、子宮頸部

病変やエイズは数年を経て症状が出てきます。りん菌とクラミジアによる骨盤炎症性疾患は薬で完治しても、女性の場合不妊症の原因になることがあります。最近増えてきている梅毒は、治療しなくても初期症状(性器のしこりや潰瘍)が2、3週間でなくなり、約3か月後に2期梅毒として全身に症状が出るのが特徴です。

主なSTIの症状と種類

臨床症状	原因となるSTIの種類	状況
尿道炎	りん菌感染症	数日で発症
	クラミジア感染症	初期症状なし
	マイコプラズマ感染症	初期症状なし
直腸炎	梅毒	数週間で発症
	クラミジア感染症	初期症状なし
	りん菌感染症	数日で発症
	単純ヘルペス	数日で発症
	赤痢アメーバ	数週間で発症
帯下(おりもの)	腔トリコモナス症	数週間で発症
	腔カンジダ症	数日で発症
	細菌性陰症	数週間で発症
	クラミジア性子宮頸管炎	数日で発症
	りん菌性子宮頸管炎	数日で発症
	性器掻痒感	腔トリコモナス症
結膜炎	カンジダ症	数日で発症
	ケジラミ症	数週間で発症
結膜炎	クラミジア感染症	数日で発症
	りん菌感染症	数日で発症

臨床症状	原因となるSTIの種類	状況
脱毛	梅毒	数週間で発症
性器腫瘍性病変	尖圭コンジローマ	数か月で発症
	梅毒	数週間で発症
性器潰瘍性病変(ただれも含む)	初期硬結	数週間で発症
	扁平コンジローマ	数週間で発症
性器潰瘍性病変(ただれも含む)	性器ヘルペス	数日で発症
	梅毒(硬性下疳)	数週間で発症
	カンジダ症	数日で発症
	軟性下疳	数日で発症
下腹部痛・発熱	性病性リンパ肉芽腫	数週間で発症
	そけい肉芽腫	数週間で発症
	骨盤炎症性疾患PID	数日で発症
発疹	クラミジア感染症	数日で発症
	りん菌感染症	数日で発症
リンパ節腫脹	梅毒(バラ疹)	数か月で発症
	性器ヘルペス	数日で発症
リンパ節腫脹	梅毒	数週間で発症
	軟性下疳	数日で発症

3 どうやって診断するの、その治療は?

症状がある場合は、検体(尿、便、おりもの、分泌物)を直接取ったり、綿棒でこすったりして提出します。また同時に採血して、血液の中の成分を調べることもあります。症状が無くても、同様に検体を取ったり、採血をしたりしますが、検査が陽性になるまでに一定の時間(ウィンドウピリオドといいます)が必要なので、検査を受けるのは、この時間が過ぎてからにしましょう。保健センターでは、無料・匿名でHIV、梅毒、クラミジア、りん菌の検査が可能です。治療薬はSTIによって異なり、ほとんどは治療で完治しますが、ウイルスによるSTIは、薬がウイルスを抑えることは出来ても殺すことは出来ないため、エイズのように薬を飲み続けたり、性器ヘルペスのように症状が出るごとに薬を飲む必要があります。



大切なことは、パートナーと一緒に治療することです。